

# 地区概要 (地区の位置)



篠路地区は札幌で一番早く開拓がはじまった歴史ある地区です。

札幌駅からJRで約20分という立地にある篠路地区は、北区北部地域の生活を支える主要な拠点となっており、後背圏には豊かな緑や河川、生活利便施設等のある住宅地が広がっています。

現在、駅周辺では鉄道高架事業、土地区画整理事業、道路整備事業といった社会基盤整備事業が進められており、拠点としてますますの利便性の向上が見込まれる地区です。



# 地区概要（人口、世帯など）

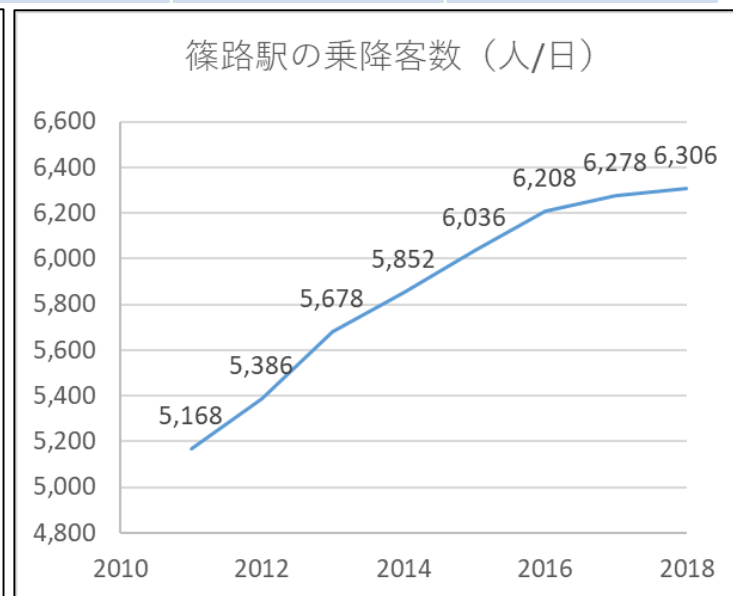
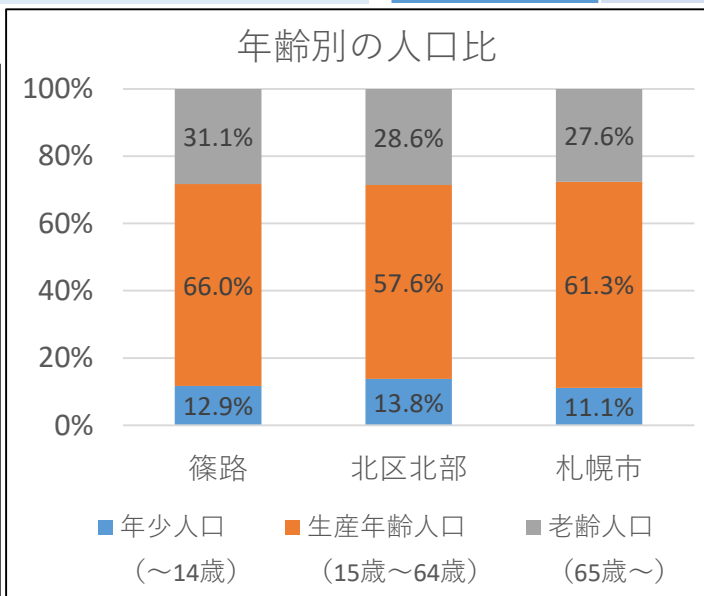
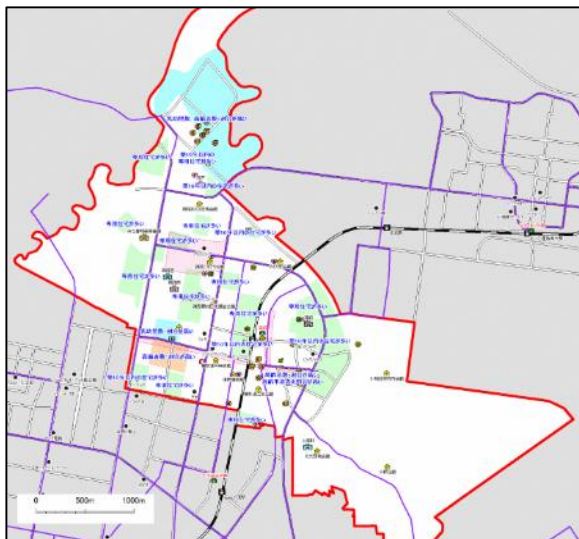
人口：31,485人  
 世帯数：15,556世帯  
 高齢化率：31.1%（札幌市：27.6%）  
 年少人口率：12.9%（札幌市：11.1%）  
 【住民基本台帳人口より,R2.10】

篠路駅乗降客数：約6,300人/日  
 【国土数値情報 駅別乗降客数データより,H30】

⇒ 高齢化率と年少人口率が札幌市の平均より高く、福祉、子育て、教育系の需要が想定される。また駅利用者は近年微増傾向

	篠路	北区北部	札幌市
人口	31,485人	83,551人	1,961,682人
世帯数	15,556世帯	39,298世帯	1,078,155世帯
1世帯あたりの人口	2.02人	2.13人	1.82人
高齢化率	31.1%	28.6%	27.6%
年少人口率	12.9%	13.8%	11.1%

※篠路茨戸まちづくりセンター区域



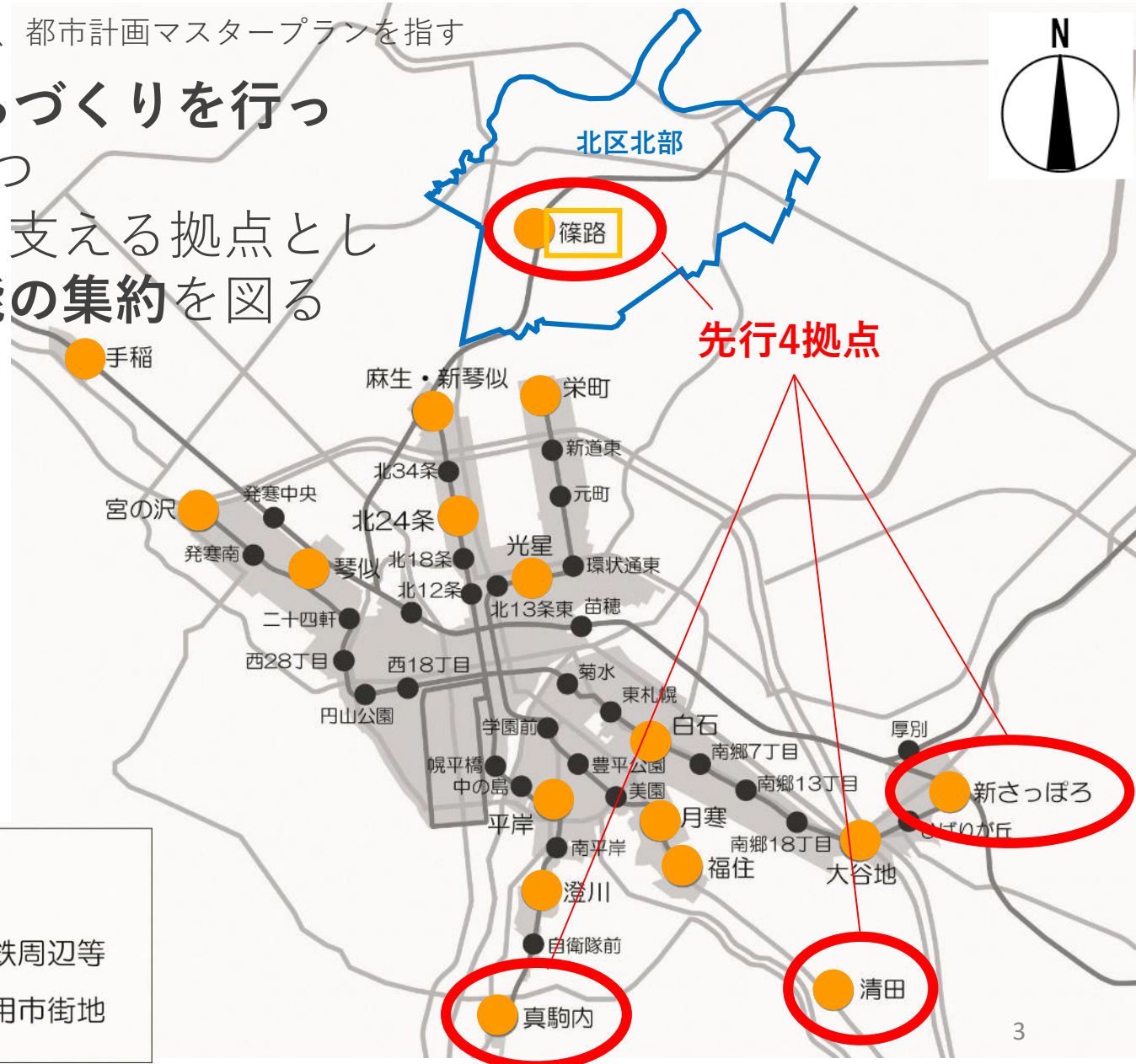
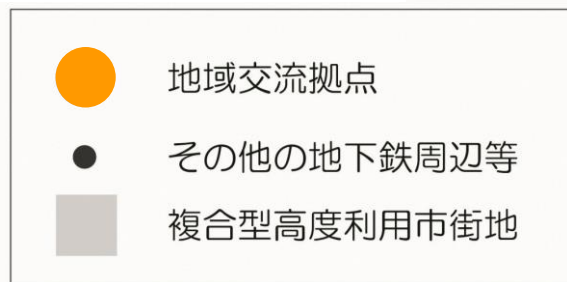
# 地区概要（上位計画※での位置づけ～地域交流拠点～）

※上位計画…まちづくり戦略ビジョン、都市計画マスタープランを指す

市内に17か所あるまちづくりを行っていく主要な拠点の1つ

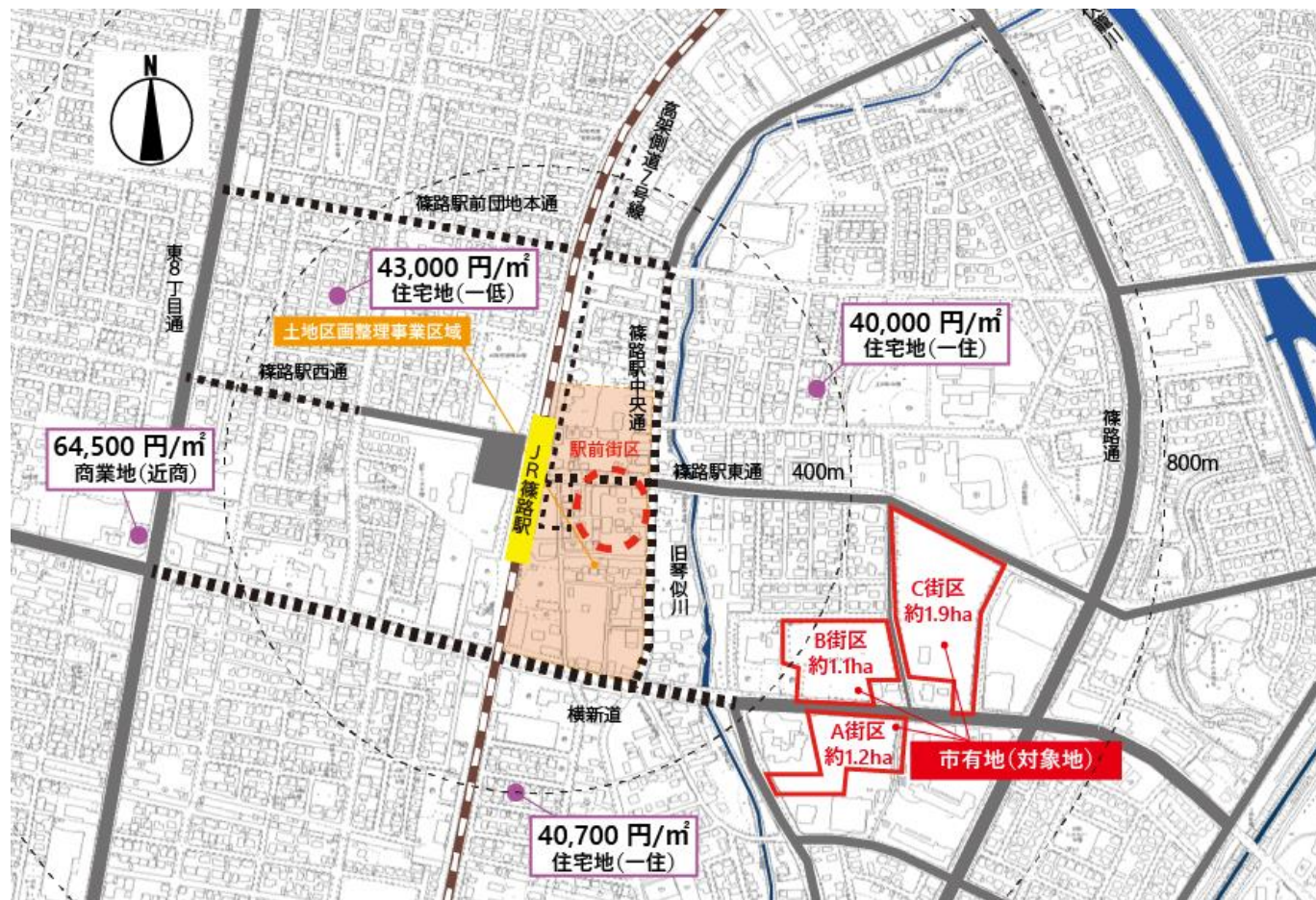
北区北部地域の生活を支える拠点として、**中核的な都市機能の集約**を図る

- ・ 篠路駅周辺地区は、**先行して取組を進める4拠点**のうちの1つ
- ・ **多様な都市機能**の導入
- ・ **民間都市開発の誘導・調整**を積極的に進め、にぎわい、交流を創出



# 地区概要（地価～札幌市内では比較的安価～）

篠路駅周辺の公示地価は、**40,000～43,000円/m<sup>2</sup>程度**となっており、札幌市内で地価が比較的安い。



※令和2年時点の数値

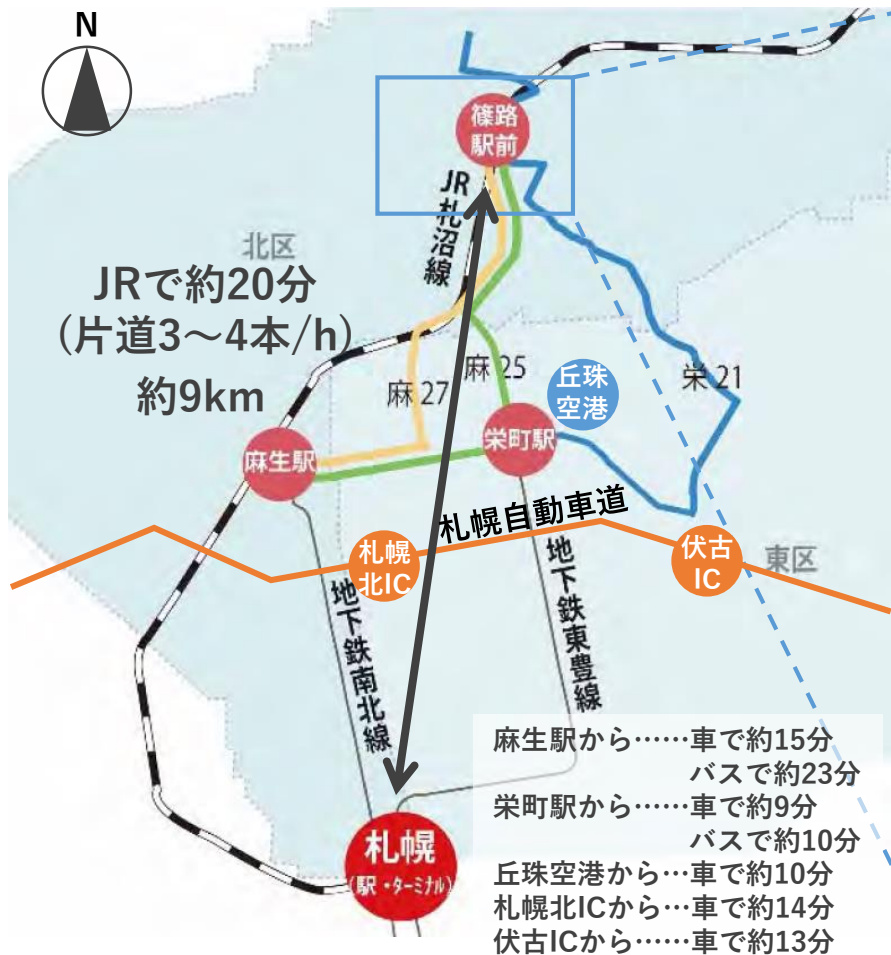
地点		地価
他の 先行 拠点	真駒内	93,000～ <u>129,000</u> 円/m <sup>2</sup> 程度
	清田	50,000～ <u>94,000</u> 円/m <sup>2</sup> 程度
	新さっぽろ	126,000～ <u>265,000</u> 円/m <sup>2</sup> 程度
北区 の学 園都 市線 駅	新川	92,000～ <u>99,000</u> 円/m <sup>2</sup> 程度
	新琴似	86,000～ <u>166,000</u> 円/m <sup>2</sup> 程度
	太平	58,000～ <u>64,000</u> 円/m <sup>2</sup> 程度
	百合が原	48,000～ <u>59,000</u> 円/m <sup>2</sup> 程度
	拓北	33,000円/m <sup>2</sup> 程度
	あいの里	32,000～ <u>39,000</u> 円/m <sup>2</sup> 程度

下線付きは商業地

# 地区概要（交通環境～広域アクセス～）

都心からJRで20分の位置。地下鉄駅や空港とのバス接続に加え、高速道路へもアクセス可能。

周辺エリアは道路網が発達しており、主要幹線道路である創成川通を軸として南北方向（東8丁目篠路通、篠路通）、東西方向（篠路通、横新道）に概ね1km間隔で主要な道路が配置されている。東西駅前通、篠路駅中央通などは駅周辺で発生する交通を主要な道路へ導く。



# 地区概要（周辺施設、周辺環境）

